

令和7年度 秋期
システム監査技術者試験
午前Ⅱ 問題

試験時間

10:50～11:30 (40分)

注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
試験時間中は、退室できません。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問1～問25
選択方法	全問必須

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) 答案用紙は光学式読取り装置で読み取った上で採点しますので、B 又は HB の黒鉛筆で答案用紙のマークの記入方法のとおりマークしてください。マークの濃度がうすいなど、マークの記入方法のとおり正しくマークされていない場合は、読み取れないことがあります。特にシャープペンシルを使用する際には、マークの濃度に十分注意してください。訂正の場合は、あとが残らないように消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
 - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入及びマークしてください。答案用紙のマークの記入方法のとおりマークされていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入及びマークしてください。
 - (3) 解答は、次の例題にならって、解答欄に一つだけマークしてください。答案用紙のマークの記入方法のとおりマークされていない場合は、採点されません。

〔例題〕 秋期の情報処理技術者試験が実施される月はどれか。

ア 8 イ 9 ウ 10 エ 11

正しい答えは“ウ 10”ですから、次のようにマークしてください。

例題	☐ ア	☐ イ	☒ ウ	☐ エ
----	-------------------------	-------------------------	------------------------------------	-------------------------

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

問1 JIS Q 19011:2019（マネジメントシステム監査のための指針）における，“監査プログラム”の定義はどれか。

- ア 監査基準に関連し，かつ，検証できる，記録，事実の記述又はその他の情報
- イ 監査のための活動及び手配事項を示すもの
- ウ 客観的証拠と比較する基準として用いる一連の要求事項
- エ 特定の目的に向けた，決められた期間内で実行するように計画された一連の監査に関する取決め

問2 システム管理基準（令和5年）に基づいて，システム監査で“稼働後評価と報告”の達成状況を確認する場合の観点として，最も適切なものはどれか。

- ア 実現可能性及び効果の分析の前提条件及び結果の妥当性が確認され，その結果が経営者に報告されているか。
- イ 実装及び統合された情報システムについて，業務要件が満足されているか。
- ウ 実装及び統合された情報システムについて，システム要件が満足されているか。
- エ 情報システムがあるべきビジネスモデル及び業務プロセスを実現していることを示す客観的な情報が提供されているか。

問3 システム監査基準（令和5年）におけるリスク・アプローチに関する記述として、適切なものはどれか。

- ア 監査対象に対するリスクとは、組織体に対して重要な影響を与えるリスクを発見できない等、監査の目的が達成できない可能性を合理的に低い水準にまで抑えられないリスクをいう。
- イ 監査の効率性よりも網羅性に重点を置くことによって、リスクに応じた監査を実施する方法である。
- ウ 保証を目的としたシステム監査計画策定における監査対象先の選定や監査の優先度は、残存リスクの評価に基づき決定されるので、固有リスクや統制リスクについての考慮は不要である。
- エ リスクの大きさは、脅威と脆弱性^{ぜい}が決定要因となるリスク発生可能性とリスクが発生した場合に組織体が受ける影響度の組合せで評価される。

問4 システム監査基準（令和5年）の説明として、適切なものはどれか。

- ア システム監査が効果的かつ効率的に行われるために、システム監査のあるべき体制や実施方法等を示したもの
- イ システム監査の信頼性を保つために、システム監査人が保持すべき情報システム及びシステム監査に関する専門的知識・技能の水準を定めたもの
- ウ 情報システムのガバナンス、マネジメント、コントロールを点検・評価・検証する際の判断の尺度となるもの
- エ 情報システムの利活用において共通して留意すべき事項を体系化・一般化してまとめたもの

問5 システム監査基準（令和5年）において、システム監査を行う組織にとって、システム監査の品質を維持し、監査業務の改善を通じてその品質を高めることを目的として実施が望ましいとされているものとして、適切なものはどれか。

- ア 監査対象の部門に所属し、業務を熟知した監査人が監査を行うこと
- イ 監査を行う組織の権限と最終的な責任を組織体外部の専門家へ委譲すること
- ウ 組織体外部の独立した専門家による点検・評価を定期的に受けること
- エ 組織体内部の監査実施後の意見聴取を客観性維持のために省略すること

問6 JIS Q 27002:2024（情報セキュリティ管理策）では、運用システムに対する監査活動の影響を最小限にするための管理策及び実施の手引を定めている。その中で守ることが望ましい事項として、最も適切なものはどれか。

- ア 運用システムに影響を与えないよう、監査におけるテストを目的としたアクセスについては、監視やログ取得の対象外とする。
- イ 運用システムや当該システム上のデータへのアクセスに関する監査要求事項については、当該システムの運用担当者に限定して同意を得る。
- ウ 監査におけるテストがシステムの可用性に影響する可能性がある場合は、当該テストを営業時間内に実施する。
- エ 監査におけるテストでソフトウェア及びデータにアクセスする場合は、読出し専用のアクセスに限定する。

問7 システム監査基準（令和5年）において、保証を目的とした監査、助言を目的とした監査の双方に当てはまる記述はどれか。

- ア 監査計画策定における監査対象先の選定や監査の優先度は、依頼者からの具体的な要請ではなく、残存リスクの評価に基づき決定される。
- イ 監査の結論は、監査調書の内容の検討によって合理的な根拠に基づいて導かれる。
- ウ 監査の内容と範囲は、監査人が自らの判断に基づいて単独で決定する。
- エ 監査報告書の様式や記載内容は、監査の依頼者と合意した依頼内容に適したものだけとする。

問8 組織におけるリスク管理と内部統制を行うためには複数のグループによる役割の分担が効果的だとする考えに基づいた、“3 線モデル”（三つのラインモデル）がある。第1、第2、第3のラインの組合せとして、適切なものはどれか。

	第1ライン	第2ライン	第3ライン
ア	営業部門	リスク管理部門	内部監査部門
イ	外部監査人	内部監査部門	取締役会
ウ	内部監査部門	取締役会	外部監査人
エ	リスク管理部門	内部監査部門	取締役会

問9 IT の統制活動のうち、IT に係る全般統制に該当するものとして、最も適切なものはどれか。

- ア 給与システムから出力された給与情報の受渡し、配布を管理する受渡簿の作成
- イ 給与システムに入力された金額データを検証するコントロールトータルの組込み
- ウ 入力画面における商品コードの実在性チェック
- エ プログラム作成における上位者によるロジックのレビュー

問10 A 社では、財務報告に係る内部統制の評価対象である業務プロセスに関する情報システムのうち、販売システム、購買システム及び物流システムは、システム部が定める共通の規則に従い、システム部が自社の同一の IT 基盤上で開発・運用し、管理を行っている。一方、各業務プロセスで発生する会計データを取り扱う会計システムは、社外のクラウドサービスプロバイダが提供するサービスを経理部が独自の規則を定めて導入して管理している。この場合、金融庁“財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準（令和 5 年）”によれば、基本的な内部統制の評価単位の組合せのうち、最も適切なものはどれか。

	IT に係る全般統制の評価	IT に係る業務処理統制の評価
ア	システム部が管理する販売システム、購買システム及び物流システムと、経理部が管理する会計システムとの二つに分けて評価する。	システム部が管理する販売システム、購買システム及び物流システムと、経理部が管理する会計システムとの二つに分けて評価する。
イ	システム部が管理する販売システム、購買システム及び物流システムと、経理部が管理する会計システムとの二つに分けて評価する。	販売システム、購買システム、物流システム及び会計システムを個別に評価する。
ウ	販売システム、購買システム、物流システム及び会計システムを一つにまとめて評価する。	システム部が管理する販売システム、購買システム及び物流システムと、経理部が管理する会計システムとの二つに分けて評価する。
エ	販売システム、購買システム、物流システム及び会計システムを一つにまとめて評価する。	販売システム、購買システム、物流システム及び会計システムを個別に評価する。

問11 プロジェクトマネジメントの進捗管理や課題管理だけでなく、サービスマネジメントのインシデント管理やサービス要求管理にも利用できる、次の特徴をもつ OSS はどれか。

〔特徴〕

- ・実施すべきタスクをチケットとして扱い、起票、調査、解決、クローズなどの状態を用いて、タスクの進捗が管理できる。
- ・チケットを利用したワークフローが実現できる。

ア Jenkins イ Redmine ウ Selenium エ Zabbix

問12 情報システムの設計の例のうち、フェールソフトの考え方を適用した例はどれか。

- ア UPS を設置することによって、停電時に手順どおりにシステムを停止できるようにする。
- イ 制御プログラムの障害時に、システムの暴走を避け、安全に運転を停止できるようにする。
- ウ ハードウェアの障害時に、パフォーマンスは低下するが、構成を縮小して運転を続けられるようにする。
- エ 利用者の誤操作や誤入力を未然に防ぐことによって、システムの誤動作を防止できるようにする。

問13 特許法に基づく特許権侵害への対応策に関する記述として、適切なものはどれか。

- ア 差止請求権は、特許権者及び専用実施権者だけにとどまらず、非独占的通常実施権者も行使できる権利である。
- イ 特許権者が損害賠償請求権を行使する場合は、常に侵害行為に過失があったことを立証する必要がある。
- ウ 特許権者が補償金請求権を行使する場合は、必ず侵害行為を停止するよう書面を提示し、警告する必要がある。
- エ 特許権者は、特許権を侵害する者だけでなく、侵害するおそれのある者に対しても、差止請求権を行使できる。

問14 JIS X 9251:2021（プライバシー影響評価のためのガイドライン）において、個人識別可能情報の処理に関する潜在的なプライバシー影響の、特定、分析、評価、協議、伝達及び対応の計画を立てるための全体的なプロセスと定義されているものはどれか。

- ア eKYC イ GDPR ウ PIA エ PII

問15 技術者倫理の遵守を妨げる要因の一つとして、集団思考というものがある。集団思考の説明として、適切なものはどれか。

- ア 自分とは違った視点から事態を見ることができず、客観性に欠けること
- イ 組織内の権威に無批判的に服従すること
- ウ 正しいことが何かは知っているが、それを実行する勇気や決断力に欠けること
- エ 強い連帯性をもつチームが自らへの批判的思考を欠いて、不合理な合意へと達すること

問16 リーダーシップ論のうち、SL 理論の説明はどれか。

- ア 有効なリーダーシップスタイルは部下の成熟度によって異なる，という前提に立って，“仕事志向の強さ”と“人間志向の強さ”の2軸で4象限に分け，状況に応じてリーダーシップのスタイルを教示型→説得型→参加型→委任型へと，その有効性を高めていくプロセスを示している。
- イ リーダーシップとはリーダーの資質ではなく状況に応じて役割を変える必要があるという考えの基に，リーダーの特性（タスク志向か人間関係志向か）と三つの状況変数（集団との関係，課題の明確さ，権限の強弱）に依存するとした，リーダーにとって有利な状況から不利な状況までを整理している。
- ウ リーダーシップの行動スタイルを，“人間に対する関心度”と“業績に対する関心度”の2軸で，それぞれの軸を9段階に分けたマネジリアルグリッドを表して，典型的な五つのリーダーシップ類型を提示し，リーダーが優れた機能を果たすためには，それぞれの関心度がともに高いリーダーシップが望ましいとしている。
- エ リーダーシップの能力を，目標達成能力と集団維持能力の二つの要素で構成されるとし，目標達成能力と集団維持能力の二つの能力の大小によって，四つのリーダーシップ類型を提示し，目標達成能力と集団維持能力がともに大きいリーダーシップが結果的に高い業績を挙げているとしている。

問17 SAML の説明として，最も適切なものはどれか。

- ア Web サービスに関する情報を公開し，Web サービスが提供する機能などを検索可能にするための仕様
- イ 権限のない利用者による読取り，改ざんから電子メールを保護して送信するための仕様
- ウ デジタル署名に使われる鍵情報を効率よく管理するための Web サービスの仕様
- エ 認証情報に加え，属性情報と認可情報を異なるドメインに伝達するための Web サービスの仕様

問18 JIS Q 27002:2024（情報セキュリティ管理策）におけるサイバーセキュリティ概念を構成する五つの属性値はどれか。

- ア 識別，検知，分析，対応，是正
- イ 識別，防御，検知，対応，復旧
- ウ 防御，検知，分析，対応，復旧
- エ 防御，分析，対応，復旧，是正

問19 JIS Q 27000:2019（情報セキュリティマネジメントシステムー用語）におけるリスク対応についての説明として，適切なものはどれか。

- ア リスクとその大きさが受容可能か否かを決定するために，リスク分析の結果をリスク基準と比較するプロセス
- イ リスクの特質を理解し，リスクレベルを決定するプロセス
- ウ リスクの発見，認識及び記述を行うプロセス
- エ リスクを修正するプロセス

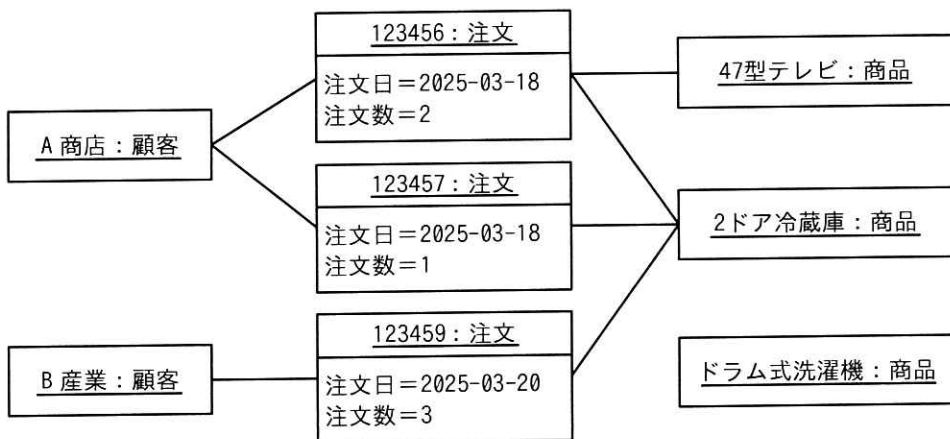
問20 セキュリティ対策としての CASB の利用方法とその効果はどれか。

- ア クラウドサービスカスタマーの管理者が、従業員が利用しているクラウドサービスに対して、CASB を利用して脆弱性診断^{ぜい}を行うことによって、脆弱性を特定できる。
- イ クラウドサービスカスタマーの管理者が、従業員が利用しているクラウドサービスに対して、CASB を利用して利用状況の可視化を行うことによって、クラウドサービスを許可を得ずに利用している者を特定できる。
- ウ クラウドサービスプロバイダが、運用しているクラウドサービスに対して、CASB を利用して DDoS 攻撃対策を行うことによって、クラウドサービスの可用性低下を緩和できる。
- エ クラウドサービスプロバイダが、クラウドサービスを運用している施設に対して、CASB を利用して入退室管理を行うことによって、クラウドサービス運用環境への物理的な侵入を防止できる。

問21 データモデルを解釈してオブジェクト図を作成した。解釈の誤りを適切に指摘した記述はどれか。ここで、モデルの表記には UML を用い、オブジェクト図の一部の属性の表示は省略した。



データモデル



オブジェクト図

- ア “123456 : 注文” が複数の商品にリンクしているのは、誤りである。
- イ “2ドア冷蔵庫 : 商品” が複数の注文にリンクしているのは、誤りである。
- ウ “A 商店 : 顧客” が複数の注文にリンクしているのは、誤りである。
- エ “ドラム式洗濯機 : 商品” がどの注文にもリンクしていないのは、誤りである。

問22 UDP を使用しているものはどれか。

- ア FTP
- イ NTP
- ウ POP3
- エ TELNET

問23 JIS X 0160:2021（ソフトウェアライフサイクルプロセス）によれば，ソフトウェアライフサイクルプロセスにおいて，提供するソフトウェアシステムが利害関係者要件（要求事項）に合致し，利用に適していることを，顧客とともに確信するに至るためのテストを何と呼ぶか。

- | | |
|------------------|------------|
| ア ソフトウェア受入れテスト | イ ソフトウェア検証 |
| ウ ソフトウェア適格性確認テスト | エ ファズテスト |

問24 特許庁によれば，IP ランドスケープの説明はどれか。

- ア 企業が保有する特許情報・非特許情報を含む知財情報を積極的に他社に公開することによって，他社との技術協力や共同開発を促進するもの
- イ 経営・事業情報に知財情報を組み込んだ分析を実施することによって，現状をふかんした結果や将来展望などを経営者・事業責任者と共有するもの
- ウ 先行技術調査，特許出願，審査請求までのプロセスを，専用の支援システムによって自動化することによって，特許をより迅速に申請できるもの
- エ 特許，商標及び著作権などの知的財産権の維持費を専用の支援システムによって自動的に管理することによって，コスト削減や業務効率化を図るもの

問25 企業が実施するマクロ環境分析のうち、PEST 分析によって戦略を策定している事例はどれか。

- ア 購買決定者の年齢層や社会的なポジション、購買に至るプロセスの中で購買行動に影響する要因を把握し、自社の製品の市場投入方法を決定する。
- イ 自社の製品市場に参入してくると見込まれる、別市場の企業の動向を把握し、新製品の開発を決定する。
- ウ 自社の販売力、生産力の評価や自社の保有する技術力を検証し、新しく進出する市場分野を決定する。
- エ 法規制、景気動向、流行の推移や新技術の状況を把握し、自社の製品改良の方針を決定する。

6. 問題に関する質問にはお答えできません。文意どおり解釈してください。
7. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。ただし、問題冊子を切り離して利用することはできません。
8. 試験時間中、机の上に置けるものは、次のものに限ります。
なお、会場での貸出しは行っていません。
受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB）、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬
これら以外は机の上に置けません。使用もできません。
9. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。
10. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。
11. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。
12. 午後Ⅰの試験開始は 12:30 ですので、12:10 までに着席してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。

なお、試験問題では、TM 及び [®] を明記していません。